

ライフウェイブについて

ライフウェイブの製品ラインは、特許取得済フォトセラピー光線療法パッチでありナノスケールクリスタル技術が採用されています。薬物、化学物質、興奮剤、栄養など、なにも体に取り込むことなく無数の健康上の利点を提供します。

私たちは健康を改善するために、ビタミン・ミネラル・ポリフェノールのようなものを進んで摂取しなければならないと考えることに慣れてしています。適切な栄養、水分、運動は健康的なライフスタイルの必要な部分ですが、私たちの体はまた、エネルギーの連続的な流れを必要とします。例えば、私たちの脳や神経は電気信号を筋肉に伝達して、貯蔵された化学エネルギーを使用して収縮させます。

特定の光の周波数が人間の体に一定の変化をもたらすということは、数千年も前から知られています。例えば太陽に当たると、特定の光の周波数によって体がビタミンDを生成します。また別の光の周波数(UV)は、日焼けの原因となる化学物質、メラニンを生成します。当社独自の非経皮性(体内に何も投与しない)パッチは、光線を利用し人間の体内エネルギーの流れをバランスよく整え向上させるために用いられています。優しく体ツボを刺激する原理を利用したものです。自然な形で生活の質を向上させるという効果が得られます。

12年間に及ぶ審査を経て、ライフウェイブテクノロジーが米国特許商標庁より特許を取得しました。米国特許商標庁(USPTO)は、「ウェアラブル生体分子装置」として基礎となるライフウェイブテクノロジーに特許を発行しました。科学的データや研究データの精査の結果、有効かつ革新的なものであると判断され、本特許取得に至ったものです。

【発明の詳細な説明】

本発明は、体内の熱力学的エネルギーの流を調節して有益な効果を生じさせる装置、医療機器です。例えば強度の改善、一実施形態によれば本発明は体内の熱磁気エネルギーを蓄積するための生体分子構成要素を含み、着用可能な装置を提供する。別の実施形態によれば、本発明は着用可能な装置であって、体内の熱磁気エネルギーを希釈するための生体分子が含まれる。さらに別の実施形態によれば、本発明は熱磁気旋回作用および、または熱磁気右旋性作用が可能なオルソ分子および/または非オルソ分子有機材料を有するオレフィン成分を含み得る着用可能な装置を提供する。

【技術分野】

Dr. Paul J. Christo がナノスケールテクノロジー光線療法技術を解説-

Dr. Paul J. Christo は Harvard と Johns Hopkins 医学部の痛みの専門家医とし、ライフウェイブフォトセラピーパッチは、慢性疼痛の診断と治療においてすべての側面と痛みの軽減をカバーしています。痛みを和らげるために光の治癒力(光線療法)を使用し、他の多くのメリットを提供する特定のパッチが痛みを和らげる方法です。LifeWave の CEO によると、ナノスケールのクリスタルとそれらをパッチで製造する方法が登場しました。これらのパッチは、皮膚の表面を刺激する光を発生させます。非常に特定の波長を反映し、誰かが膝の痛みを有する場合、例えば痛みの領域にパッチを適用することができます。体温の熱がパッチ内部の結晶を活性化させる。その後パッチは光を反射し、皮膚を刺激し、すぐに炎症を減少させ始めます。ライフウェイブの光線療法技術は、広範な臨床研究でテストされており、これらはすべて各パッチに関連する健康強調表示を実証するのに役立ちます。重要なことに、これらのパッチは、薬物、化学物質、または興奮剤を使用せずに、従来の光線療法とは異なり、コンセントに差し込まなければならない機器ではありません。自然な体内の熱を電源として使用します。この薬物以外の中毒性のないアプローチは、光線療法技術の最前線に位置します。特に「今日、私たちの国の多くの地域社会を悩ませている広範なオピオイド中毒を含む有害な副作用を有する医薬品鎮痛剤とは対照的です」「教育を受けていても、痛みは人生を奪ったと感じている多くの人を孤立させます。」研究では前立腺のような炎症分子がそうすることが示されています。一般的に光線療法は炎症プロセスの増幅と痛みの認知を軽減し炎症の減速を助長する可能性があります。

2004 年に創立されカリフォルニア州サンディエゴに本社を置き、現在 100 カ国以上に 20 の言語で製品を販売する健康技術企業です。LifeWave の製品ラインには特許、光線療法パッチ技術が含まれており、薬物、興奮剤、または鍼を身体に必要とせずに無数の健康上の利点を提供しています。